

新聞記事にみる賀川豊彦 (53)

1910 (明治43) 年~1963 (昭和38) 年 (神戸版)

第53回 「世界連邦世界大会」「長田区神視保育園」

「世界連邦世界大会」
1963 (昭和38) 年8月26日 「神戸新聞」

世界連邦世界大会第二日の二十
五日は、午前十時から東京灘町の
東条会館で婦人代表の会が世界連
邦日本協議会副会長湯川スミ夫人
を中心に開かれた。このあと午後
二時半から①「軍縮の平和維持面
について」(東京文化会館)②
「軍縮の経済的影響と経済開発」
(尾崎記念館)③「世界連邦の道
義面について」(東条会館)④
「かくしてわれわれは目的に達す
るであろう」(東京文化会館)の
四つの分科会に分かれて内外代
表が討論を行なった。
この分科会は二十六日も引き続
いて開き、二十七日の全体会議で
その結果が報告される。
また同日帝國ホテルで開かれた
起草委員会では、二十七日の全体
会議で発表する「東京宣言」など
の内容を討議、国連を世界連邦に
改組するというコペンハーゲン提
案の改正案(東京提案)を三十日
京都総会で正式に採択することに
した。
同日行なわれた第一分科会(議
長、鮎沢殿国際基督教大学教授)
では、前日の笠信太郎氏(評論
家)による「世界連邦建設を世界
各国の外交政策の根本にすべ
だ」との提案が広く支持され、各
国の政府が世界連邦建設を国是と
するよう働きかけることが内外代
表から主張された。
第二分科会(議長、ロールスタ
ッド・ノルウェー代表)ではシェ

ラール・フランス代表から「もし現在世界各国が、浪費、している総計千二百億の軍事支出を平和目的に使えば、後進国の経済発展、貧困の解消などに大いに貢献できる」との意見が述べられ、軍備全廃による失業問題の解決策などが検討された。

第三分科会（議長、ウインゲート英代表）では前日谷川徹三氏（法政大学総長）から紹介された「アインシュタインの平和原則」（全体の破壊を避けるという目標は、他のいかなる目標にも優位せねばならぬ）を世界連邦運動全体の原則とすることを確認「一国だけではなく、世界への忠誠心」を養う必要性が強調された。

また現在南ベトナムで行なわれている仏教徒への弾圧にたいしては、信仰の自由を守る立ち場から抗議することが話し合われた。

第四分科会の青年学生部会（議長、ラムシン・インド代表）では「世界連邦建設運動が観念的な論議から具体策を生み出す段階にきている」と主張され、国連に世界連邦建設促進決議案を出すほか、運動内部での青年の役割りが討論された。

世界連邦を国是に

大会第二日 “笠提案” に広い支持

世界連邦世界大会第二日の二十五日は、午前十時から東京麹町の東条会館で婦人代表の会が世界連邦日本協議会副会長湯川スミ夫人を中心に開かれた。このあと午後二時半から

- ① 「軍縮の平和維持面について」（東京文化会館）
- ② 「軍縮の経済的影響と経済開発」（尾崎記念館）
- ③ 「世界連邦の道義面について」（東条開館）
- ④ 「かくしてわれわれは目的に達するであろう」（東京文化会館）

の四つの分科会に分かれて内外代表が討論を行なった。

この分科会は二十六日も引き続いて開き、二十七日の全体会議でその結果が報告される。

また同日帝国ホテルで開かれた起草委員会では、二十七日の全体会議で発表する「東京宣言」などの内容を討議、国連を世界連邦に改組するというコペンハーゲン提案の改正案（東京提案）を三十日京都総会で正式に採択することにした。

同日行なわれた第一分科会（議長、鮎沢巖国際基督教大学教授）では、前日の笠信太郎氏（評論家）による「世界連邦建設を世界各国の外交政策の根本にすべきだ」との提案が広く支持され、各国の政府が世界連邦建設を国是とするよう働きかけることが内外代表から主張された。

第二分科会（議長、ロールスタッド・ノルウェー代表）ではジェラルド・フランス代表から「もし現在世界各国が、“浪費”している総計千二百億ドルの軍事支出を平和目的に使えば、後進国の経済発展、貧困の解消などに大いに貢献できる」との意見が述べられ、軍備全廃による失業問題の解決策などが検討された。

第三分科会（議長、ウィンゲート英代表）では前日谷川徹三氏（法政大学総長）から紹介された「アインシュタインの平和原則」（全体の破壊を避けるという目標は、他のいかなる目標にも優位せねばならぬ）を世界連邦運動全体の原則とすることを確認「一国だけでなく、世界への忠誠心」を養う必要性が強調された。

また現在南ベトナムで行なわれている仏教徒への弾圧にたいしては、信仰の自由を守る立ち場から抗議することが話し合われた。

第四分科会の青年学生部会（議長、ラムシン・インド代表）では「世界連邦建設運動が観念的な論議から具体策を生み出す段階にきている」と主張され、国連に世界連邦建設促進決議案を出すほか、運動内部での青年の役割りが討論された。

「長田区神視保育園のもちつき」

1963（昭和38）年12月3日「神戸新聞」（夕刊）



保育園でおもちつき

神戸
長田 質屋さんの持ち寄りで

○正月まで一月たらず、町に“しわす”の風物詩がチラホラ見え始めた三日朝、神戸市長田区の保育園で早くもモチつきのキネの音ははずみ、こどもたちもいっしょに楽しいひとときを過ごした。

○神戸質屋協同組合長田支部＝荒木信雄支部長、会員六十六人＝が毎年末、区民生安定所を通じて贈りつつけている「愛の持ち寄り基金」をもとにモチつき奉仕を始めたもので、ひとして四回目。

早くこいね正月も
ちつきによろこぶ
どもたちー神戸市長田区
神戸質屋協同組合

○この日は午前九時から同区三番町四ノ八、神視保育園（武内勝園長）に近くの六保育園の園児三百三十人を集め、組合の役員や安定所職員がハチ巻き姿で二つのウスでペッタンコ。こどもたちも小さな手で丸めたり、見物したり。五日まで区内十四の公私立保育園児千人に一人五個ずつの小モチとキャラメルを配る予定。

愛のゆげ立て “ペッタンコ”

保育園でおもちつき

神戸長田 質屋さんの持ち寄りで

- ✚ 正月まで一月たらず、町に“しわす”の風物詩がチラホラ見え始めた三日朝、神戸市長田区の保育園で早くもモチつきのキネの音ははずみ、こどもたちもいっしょに楽しいひとときを過ごした。
- ✚ 神戸質屋協同組合長田支部＝荒木信雄支部長、会員六十六人＝が毎年末、区民

生安定所を通じて贈りつづけている“愛の持ち寄り基金”をもとにモチつき奉仕を始めたもので、ことしで四回目。早くこいお正月—もちつきによるこぶこどもたち—神戸市長田区神視保育園で。

- ✚ この日は午前九時から同区三番町四ノ八、神視保育園（武内勝園長）に近くの六保育園の園児三百三十人を集め、組合の役員や安定所職員がハチ巻き姿で二つのウスでペッタンコ。こどもたちも小さな手で丸めたり、見物したり。五日まで区内十四の公私立保育園児千人に一人五個ずつの小モチとキャラメルを配る予定。

以上、「新聞記事にみる賀川豊彦」というタイトルをつけて、1910（明治43）年から賀川記念館が完成した1963（昭和38）年の年末までの手持ちの新聞記事を53回にわたって取り出した。

はじめにも記したように、20数年前の賀川生誕100年記念の前頃に、古いマイクロフィルムから例の湿式のプリンターで印刷したもので不鮮明なものであり、加えてこれは経過と共に薄くなってしまっている。遅まきながらこうしてパソコン上に収めておけば、賀川ミュージアムに於いても、来館者に手軽に覗いていただくことが出来るかもしれないと思いつき、取り敢えずこんなものを作ってみた。

賀川ミュージアムでは、この連載の新聞記事をさらに読みやすくするために、文字化する作業をはじめられるようである。また、賀川ミュージアムには、賀川豊彦没後から1980年代頃の新聞記事のスクラップブックが7冊ほど残されていることも確かめることができた。それらはマイクロではなく生の新聞記事なので、直接閲覧可能なかたちになっている。

いずれ東京の賀川豊彦記念・松沢資料館や鳴門市賀川豊彦記念館所蔵の新聞資料なども相互にネット上で閲読出来たりする時も来るはずである。昨年「吉田源治郎の世界」を訪ねる機会があったが、四貫島セツルメントの働きを含めた「新聞記事にみる賀川豊彦」の「大阪版」などのアップなどあれば、いっそうその幅が広がっていくものと思われる。

なお付録として、1964（昭和39）年に神戸新聞で連載されたものの2回分が手元にあるのでそれを収め、54回分の目次も作って、ひとまず終わりとする。

「賀川豊彦生誕100年記念」前後の新聞記事や「賀川豊彦献身100年記念」に関連する新聞資料なども、散逸しないうちにまとめて置くのも有益であろう。

（2011年4月25日記す。鳥飼慶陽）